

## 第 77 回緑政審議会における委員からの意見と事務局からの回答・対応方針

番号	頁	委員名	質問・意見	回答・対応方針
1	114	岩田委員	公園や緑地の維持管理に関して、将来に繋いでいけるように、現場に応じたチェックリストの作成を提案する。	第 4 章「自然環境調査」の項目に「モニタリング調査のためのチェックリストの作成を検討します。」と追記しました。
2	168 ～	岩田委員	生物多様性や種の保全への配慮について、概略的な文言しか出てきていないので、指標を推計や流域ごとに設定するなど、地域の実情に合わせることで表現としてはどうか。	第 6 章に生物の写真を掲載しました。
3	-	岩田委員	序章 計画対象人口のうち、将来推計人口のグラフは載せるべきではない。	図を削除しました。
4	68	植木委員	樹林地の維持管理に関して、木の伐採だけではなく、若木や幼木を育てることの必要性を示してはどうか。	第 3 章「安全安心をもたらす緑」のコラムに「幼樹や稚樹を生育する」と追記しました。
5	94 ～	山内委員	リーディング・プロジェクトのフロー図の言葉を整合させること。	フロー図を修正しました。
6	99	山内委員	リーディング・プロジェクトのフロー図に学生ボランティアや企業の CSR 活動も入れてはどうか。	フロー図を修正しました。
7	17	山内委員	鎌倉市の動向として、令和元年の台風被害について記載してはどうか。 「新型コロナウイルス危機」との表現は、「新型コロナウイルスによるパンデミック発生」の方が伝わるのではないかと。若しくは、鎌倉市固有ではないので削除する。	第 1 章 1-2 鎌倉市の動向 表 1-2 に「台風 15 号、19 号による崖崩れや倒木被害の多発」と追記しました。 「新型コロナウイルス危機」は削除しました。
8	5 53	山内委員	「ボランティア活動に大きく依存することが難しくなっている・・・」の表記は現在活動している高齢の方が読むとモチベーションダウンにつながる可能性がある。「ボランティア活動のあり方について見直し必要性が出てきています。」としてはどうか。	「ボランティア活動のあり方について見直す必要性が出てきています」と修正しました。
9	-	上村委員	図や表への参照先を本文中に明示してはどうか。	本文中に、図の参照先を追記しました。
10	62	松行委員	将来都市像の 3 つのフォントに違いがあるなど、表したいことがすぐには伝わりにくい。	将来都市像のフォントを統一する、図の修正をしました。
11	112	松行委員	図 4-11 民有緑地の維持管理支援策の再構築イメージ 矢印の意味が伝わりにくい。	図の大きな矢印を廃止し、内容の説明を充実させるなどの修正をしました。
12	60	押田委員	第 2 章グリーンインフラの考え方 「③緑を活かす」とした図のうち、上から下へ示す矢印の意味が分かりにくい。	矢印を削除し、図を修正しました。
13	102	押田委員	図が多いため、重複する内容のものはまとめ	複数の図において共通する、7 つの緑の

番号	頁	委員名	質問・意見	回答・対応方針
	105		てはどうか。	機能や施策の柱などの表示を、ゴシック体や丸囲み数字を用いるなど、デザインを統一しました。（「1 歴史文化を守る緑」や「①緑地の保全」など。）
14	75	田中委員	第3章交流とふれあいを広げる緑の「身近な公園再整備の考え方」の図は不要ではないか。	図を削除しました。

第77回緑政審議会後に委員から提出された意見と事務局からの回答・対応方針

番号	頁	委員名	質問・意見	回答・対応方針
1		山内委員	写真は場所の偏りがないように市内全域に散らばるのが望ましい	写真の配置の検討や追加などの修正をしました。
2	56	山内委員	図2-1は、「様々な市民等との連携」だけでは意味不明であるため、「行政・企業・市民など様々な担い手の連携強化による緑化推進」としてはどうか。	「行政・企業・市民など様々な担い手の連携強化による緑化推進」へ修正しました。
3	95	山内委員	図4-3は、行政枠の中の「直接施工型・助成型」だけでは意味不明なため削除するか、民有緑地の支援策(直接施工型・助成型)の推進と説明文をいれるべき。図4-6、図4-7と記述内容を合わせるのがよい。	図を修正しました。
4	96	山内委員	2) 取組の方針中、「緑化の担保性の向上」の表現は意味不明である。	「緑化を図り」へ修正しました。
5	95 97 99	山内委員	左側は行政、真ん中が市民、左側が事業者ということを明確にして、3者が連携する図にする。	図を修正しました。
6	98	山内委員	2) 取組の方針中、「○緑地管の維持管理に主体的役割を果たす緑のレンジャー」となっていますが「○緑地管の維持管理に主体的役割を持つ緑のレンジャー」の方がよい。	「○緑地管の維持管理に主体的役割を持つ緑のレンジャー」へ文章を修正しました。
7	99	山内委員	行政枠から緑地保全の担い手に矢印を追加し、「協働事業などにより市役所員の参画」と表記してはどうか。	双方向の矢印とし、行政とボランティアが協働するとしました。
8	124		第4章 4-5 制度・事業の内容と方針の、緑のレンジャーや担い手の育成の項目において、方針の3つ目にある「地域に根付いた緑地管理支援組織として、緑のレンジャーの活動・・・」は意味不明であるため、「緑のレンジャーの活動の場を広げ、地域に根付いた緑地管理支援組織化して、緑地維持管理の担い手」に修正すること。	「緑のレンジャーの活動の場を広げ、地域に根付いた緑地管理支援組織として、緑地維持管理の担い手育成につなげていきます。」と修正しました。